

語彙力を高める —自分たちで作って取り組もう！ 古文単語テスト—

1 科目名 古典 B

2 単元名 問題演習（復習）

3 教材名 「自分たちで作って取り組もう！ 古文単語テスト」

(独自教材「作ってみよう古文単語テスト」使用)

4 単元の内容

単元の目標と 評価規準・評価 方法	<p>①単元の目標</p> <p>ア 古典に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解する。(知識・理解) イ グループ学習に積極的に取り組み、級友との話し合いの中からより適切な例文を作成しようとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>②単元の目標設定の理由</p> <p>古文の語彙力については、1年次より単語テスト等で積極的な涵養が図られている場合が多い。しかし、多くの場合、古文単語小テストには範囲・出題例文が設定されている。学習者はその範囲の例文を丸暗記してテストに臨み、合格点を得るが、同じ単語が全く異なる文脈において出題された場合は、得たはずの知識をなかなか応用させることができないという事例が往々にして見受けられる。そこで、この単元においてはある程度学習の進んだ古典学習者に対して、古文単語の語彙力と基礎的な古典文法を見直させることにより、高校における古典学習完成への糸口とすることを目標とした。</p> <p>③中心となる学習活動</p> <p>担当語句について復習し、その語句を用いた例文（口語・文語）を作成する。メリットは、機械的に暗記するだけであった古典単語、文法をじっくりと見直すことで語彙力や文語的表現に対する意識が高まることである。ただし、生徒によっては単語のニュアンスがよく理解できていない場合もあるため、グループ学習・机間指導などできめ細やかな対応が必要になると予想される。</p> <p>④言語活動の工夫</p> <p>まずは自分で例文を考え、その後、グループ学習へと移行することにより、習熟度の低い生徒が周囲の助けを得られるようにするとともに、より多くの単語、例文について考える機会をもつことができるようにした。古語もかつては日常生活の中で用いられていた「生きた言葉」だということを再認識し、自分自身でも使いこなせるようにすることで、より古文世界への理解を深め、様々な文章を読みこなすことにつながっていくと考えられる。また、自分たちの作った例文による小テストを行うことで、単語帳の丸暗記のみではない単語テストに取り組むことができ、語彙力の向上を図ることができる。</p>
-------------------------	--

	<p>⑤評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="371 244 461 293"></th> <th data-bbox="461 244 888 293">評価規準</th> <th data-bbox="888 244 1093 293">評価方法</th> <th data-bbox="1093 244 1406 293">状況 C の生徒への対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="371 293 461 584"> 関心 ・ 意欲 ・ 態度 </td> <td data-bbox="461 293 888 584"> ①辞書等を用いつつ、より明快かつ正確な例文を作成しようとしている。 ②グループ学習に積極的に参加し、語彙力・文法力を高めようとしている。 </td> <td data-bbox="888 293 1093 584"> 観察（机間指導・発言） 点検（授業プリント） </td> <td data-bbox="1093 293 1406 584"> 質問があれば遠慮なく申し出るよう全体に伝えておく。グループ学習への積極的参加を促す。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 584 461 797"> 知識 ・ 理解 </td> <td data-bbox="461 584 888 797"> ①古文単語の意味・用法を正確に理解している。 ②基本的な古典文法を使いこなすことができている。 </td> <td data-bbox="888 584 1093 797"> 観察（机間指導・発言） 点検（授業プリント） </td> <td data-bbox="1093 584 1406 797"> 古語辞典や文法書を持参させ、参照させる。必要があれば助言を行う。 </td> </tr> </tbody> </table>		評価規準	評価方法	状況 C の生徒への対応	関心 ・ 意欲 ・ 態度	①辞書等を用いつつ、より明快かつ正確な例文を作成しようとしている。 ②グループ学習に積極的に参加し、語彙力・文法力を高めようとしている。	観察（机間指導・発言） 点検（授業プリント）	質問があれば遠慮なく申し出るよう全体に伝えておく。グループ学習への積極的参加を促す。	知識 ・ 理解	①古文単語の意味・用法を正確に理解している。 ②基本的な古典文法を使いこなすことができている。	観察（机間指導・発言） 点検（授業プリント）	古語辞典や文法書を持参させ、参照させる。必要があれば助言を行う。
	評価規準	評価方法	状況 C の生徒への対応										
関心 ・ 意欲 ・ 態度	①辞書等を用いつつ、より明快かつ正確な例文を作成しようとしている。 ②グループ学習に積極的に参加し、語彙力・文法力を高めようとしている。	観察（机間指導・発言） 点検（授業プリント）	質問があれば遠慮なく申し出るよう全体に伝えておく。グループ学習への積極的参加を促す。										
知識 ・ 理解	①古文単語の意味・用法を正確に理解している。 ②基本的な古典文法を使いこなすことができている。	観察（机間指導・発言） 点検（授業プリント）	古語辞典や文法書を持参させ、参照させる。必要があれば助言を行う。										
<p>成果と課題</p>	<p>〈成果〉</p> <p>① 今までただ訳例を丸暗記していただけであった単語について、そのニュアンスをじっくり考えることにより、より理解を深めることができた。</p> <p>② 作成した例文を用いて単語テストを行った際、単語帳の例文からの出題であれば合格できる生徒も次々と不合格となり、語彙力がまだまだ不足しているという気付きが生まれ、その後の自発的な学習につながっていった。</p> <p>③ 例文を自由創作にし、またグループ活動を取り入れたことによって、楽しみながら学習に取り組むことができた。</p> <p>〈課題〉</p> <p>① 単語によって一つの意味しか持たないものと複数の意味をもつものがあり、すぐに例文作成が終わってしまった生徒と例文作成に時間がかかる生徒の差ができてしまった。取り扱う語句を決める際、意味の少ない単語については他の同様の単語と組み合わせるなどの配慮が必要であった。</p> <p>② 生徒による例文を用いた小テストをいかに科全体で共有し、引き継ぎ、成熟したものとさせていくかを今後の課題として研究したい。</p>												
<p>アドバイス及び留意点</p>	<p>① 今回の実践はある程度習熟度の高い生徒を対象に行ったが、古典を苦手とする生徒が授業対象である場合は、口語文の中に担当語句を織り込んだ例文づくりをさせるなど、多少の工夫が必要であると考えられる。</p> <p>② 学習プリント作成の際には Word の差し込み印刷機能を活用した。Excel で作成し、重要古語の表を利用して担当語句を直接プリントに印刷→授業においてランダムに生徒に配付という形式で行うと効率が良い。</p>												
<p>小中学校との系統性</p>	<p>（中学校・第1学年・言葉の特徴やきまりに関する事項）</p> <p>（イ）語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。</p>												

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況 C の生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1 (本時)	<p>○自分で例文を作成する。</p> <p>○グループ学習を通じ、より明快かつ正確な例文を作成する。</p>	<p>・プリントに指定された担当語句について、辞書や文法書を活用しつつ例文を作成する。【ア】</p> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味が文脈より特定できる例文を作る。 ・古典文法を確認しつつ口語文を文語文に訳す。 <p>・グループで個々の作成した例文を互いに検討・添削し合う。【ア】【イ】</p> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的に文脈から意味の特定可能な例文かどうか、語句の用例として適切か、古典文法に誤りはないかを確認する。 ・級友からのアドバイスに基づき、より適切な例文を工夫する。 	<p>辞書等を用いつつ明快かつ正確な例文を作成しようとしている。【関】</p> <p>古文単語の意味、用法を正確に理解している。【知】</p> <p>基本的な古典文法を使いこなすことができている。</p> <p>【知】</p> <p>↓</p> <p>観察 (机間指導・発言)</p> <p>点検 (ワークシート)</p> <p>グループ学習に積極的に参加し、語彙力、文法力を高めようとしている。【関】</p> <p>↓</p> <p>観察 (机間指導・発言)</p> <p>点検 (ワークシート)</p>	<p>古語辞典や文法書を持参させ、参照させる。必要があれば同時に助言も行う。</p>

6 第1時の学習指導案

本時の位置	1時間目（全1時間）		
本時の学習目標	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。（知識・理解） イ グループ学習に積極的に取り組み、級友との話し合いの中からより適切な例文を作成しようとしている。（関心・意欲・態度）		
事前の準備	① 授業プリントの作成 ② 単語帳・辞書・文法書等の持参連絡		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 10分	<input type="checkbox"/> 本時の課題確認 <input type="checkbox"/> 学習活動の確認	① 本時の課題を確認する。 ② 学習活動内容について説明を受け理解する。	・ 授業プリントを配付し、評価規準を説明する。
展開 1 15分	<input type="checkbox"/> 例文作成	③ 授業プリントに取り組む。	・ 生徒の取組状況を机間指導により把握する。 目標アに対する評価規準と評価方法 [規準] ・ 古語の意味・用法、古典文法を正確に理解して例文を作成している。 [方法] ・ 観察（机間指導） ・ プリント提出 [状況Cの生徒への手立て] ・ 辞書を参照することを促す。以前、どのような文脈で担当語句が使われていたかを手掛かりにして理解を深めさせる。 ・ 口語による作文を簡潔な表現にし、助動詞等の知識を思い出させる。また、文法書を参照することを促す。
展開 2 20分	<input type="checkbox"/> グループ学習による相互添削	④ グループの形態に席を移動し、司会者を中心としてそれぞれの例文について皆で協議の上、より明快かつ的確な例文を作り上げる。	・ 考えたこと、感じたことを率直に言い合える雰囲気づくりに配慮する。 目標イに対する評価規準と評価方法 [規準] ・ グループ学習に積極的に参加している。 [方法] ・ 観察（机間指導） [状況Cの生徒への手立て] ・ 質問があれば遠慮なく申し出るよう全体に伝えておく。グループ学習への積極的参加を促す。

ま と め 5 分	□授業プリントの完 成・提出・自己評 価	⑤グループでの話し合いで得 られた意見に基づき、例文 を完成させ提出する。本単 元の取組について自己評価 する。	・作成された例文は、次時より古語単語テスト として使用することを予告しておき、古典に おける語彙力向上の意識を高めることがで きるようにする。
-----------------------	----------------------------	--	--